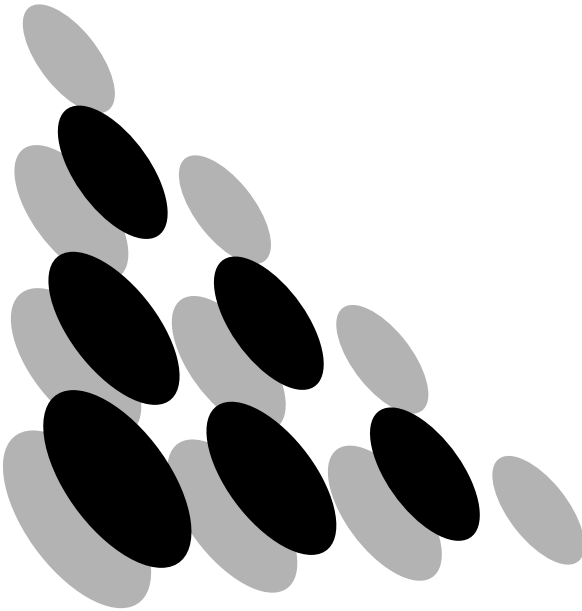


DLTライブラリ装置  
( GP-DLL201 )

取扱説明書



## はじめに

---

このたびは、GRANPOWER シリーズ用DLT装置をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

本書は、DLTライブラリ装置（以下、本製品）の取り扱いの基本的なことからについて説明しています。

お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

1998年8月

## 安全にお使いいただくために

---

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、本書の冒頭の「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解された上で本製品をお使いください。

また、本書は、本製品の使用中にいつでも参照できるよう大切に保管してください。

## 安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。

感電



で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容(左図の場合は感電注意)が示されています。

分解



⊘で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が示されています。

プラグ



で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が示されています。



**警告**

窒息



梱包に使用しているビニール袋はお子様が入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。  
窒息の原因となります。

感電



異物(水・金属片・液体など)が装置の内部に入った場合は、ただちにサーバ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、弊社担当保守員にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



感電

開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。  
感電・火災の原因となります。



感電

装置をお客様自身で改造しないでください。  
感電・火災の原因となります。

## 梱包物を確認してください

---

ご使用いただく前に、次のものが梱包されていることをお確かめください。

- DLTライブラリ装置×1
- SCSIケーブル(2.5m)×1
- SCSIジャンパケーブル(0.1m)×1
- SCSIターミネータ×1
- 電源ケーブル×1
- データカートリッジ×1
- クリーニングカートリッジ×1
- 取扱説明書(本書)×1
- 保証書×1

万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、お買い求めの販売店または弊社担当保守員までお申し付けください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

DLTおよびDLTtapeはクアンタム・コーポレーションの商標です。  
会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

# 目次

---

1 . 概要 .....	1
1 . 1 装置概要 .....	1
1 . 2 各部の名称 .....	2
2 . 設置と接続 .....	3
2 . 1 設置場所 .....	3
2 . 2 接続 .....	4
3 . 操作のしかた .....	6
3 . 1 カートリッジの装填または取り出し .....	6
3 . 2 コントロールパネル .....	10
4 . カートリッジの使用と維持 .....	20
4 . 1 カートリッジのラベル付け .....	20
4 . 2 マガジンのラベル付け .....	21
4 . 3 カートリッジの書き込み禁止 .....	22
4 . 4 カートリッジの維持 .....	23
5 . ドライブのクリーニング .....	24
6 . バックアップ運用上の注意事項 .....	25
7 . 困ったときには .....	26
8 . 仕様 .....	32
付録A エラーメッセージの意味 .....	33
付録B サプライ品について .....	42

# 1 . 概要

## 1 . 1 装置概要

---

本製品は、大容量のデータバックアップ装置です。

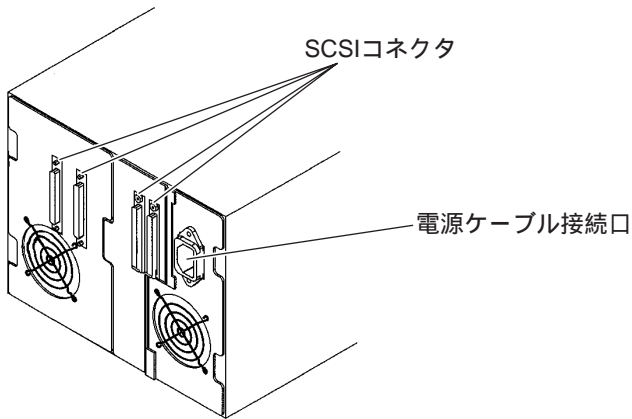
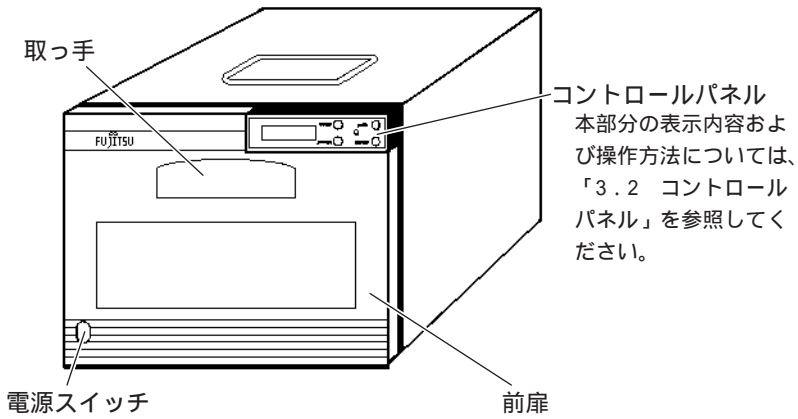
ホストコンピュータとはSCSI ( Small Computer System Interface ) インタフェースで接続します。

本製品は次のような特長をもっています。

- ・ データカセット8巻を装着し、非圧縮データ160GB ( データ圧縮時は約2倍 ) までバックアップ可能です。
- ・ 実効転送速度1.5MB/S ( データ圧縮時約3MB/S ) と高速転送が可能です ( 転送速度は、ホストコンピュータ、バックアップソフトウェアなどによって若干異なります ) 。

## 1.2 各部の名称

---



## 2. 設置と接続

### 2.1 設置場所

---

次の基準を満たす場所を選んで設置してください。

#### 設置場所基準

室温	10～35
電源	AC電圧：100V 定格電流：1.8A 最大ワット数：120W
空気の室	微粒子汚染が少ないこと。使用頻度の高いドアや通路の付近、ホコリのたまりやすい備品の山、煙の充満している部屋、大型または高速のプリンタの近くは避けること。フィルタを使用しないこと。 注意：過度のホコリや屑は、カートリッジおよびテープドライブを損なうことがあります。
適切な間隔	後ろ 15cm 前 20cm 横 2.5cm

#### 技術仕様

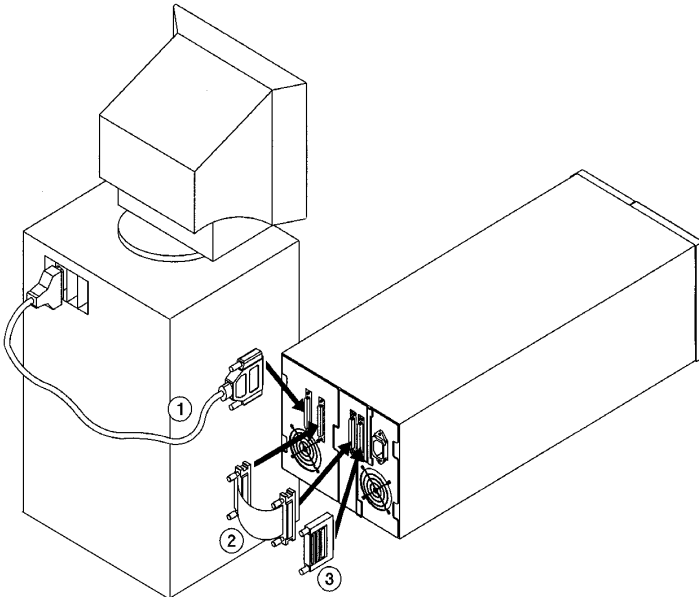
寸法	高さ：19.7cm 幅：23.4cm 奥行き：55.9cm 重さ：13.2kg
騒音	47dB



## 2.2 接続

### 2.2.1 ホストコンピュータとの接続

1. ホストコンピュータに接続されている周辺機器のすべてを正しくシャットダウンします。  
ホストコンピュータがネットワークに接続されている場合には、電源を切る前に、システム管理者に確認を取ってください。
2. ホストコンピュータをシャットダウンします。
3. SCSIバスアダプタを増設します。  
SCSIバスアダプタの取り付けに関する情報については、ホストコンピュータの取扱説明書およびカードの取り付け説明書を参照してください。  
次のガイドラインに従ってください。
  - ・ ホストに使用できるPCI拡張スロットがあることを確認する。
  - ・ 取り付け前にホストの電源を切る。
  - ・ SCSIバスアダプタと本装置を1対1に接続する。SCSIバス上に、他のハードディスクや周辺機器を接続しない。
4. SCSIケーブルで本装置とホストコンピュータを接続します（下図の ）。  
SCSIバスアダプタと本装置を1対1で接続してください。
5. SCSIジャンパケーブルを本装置の2つの内部コネクタに接続します（下図の ）。
6. SCSIターミネータを接続します（下図の ）。



## 2.2.2 電源への接続

1. 電源ケーブルをアースされたコンセントに接続します。
2. 前扉を開けて、左下部にある電源スイッチを押し、電源を入れ、前扉を閉めます。

最初にNOT READY / SELF TEST NOT READY / INVENTORY CHECK NOT READY / CHECK DRIVE、のメッセージが正面のコントロールパネル上に交互に表示されます。パワーオンテストが完了（約30秒）すると、表示ウィンドウにドライブのステータス情報が表示されます。

電源が入らない場合は、「7. 困ったときには」を参照してください。

3. 他の周辺機器がある場合はその電源を入れます。
4. ホストコンピュータの電源を入れます。

### Point

・本装置の電源を切断/投入するときは前扉を開いてから行ってください。

（扉の開け方は「3.1.1(1)扉の開け方」を参照）

・主電力を遮断するには、電源ケーブルを壁のコンセントから抜き取ります。

本装置の前面にあるスイッチは、二次的回路を遮断するのみです。

## 3 . 操作のしかた

### 3 . 1 カートリッジの装填または取り出し

---

#### Point

アプリケーションソフトウェアを使用してライブラリ内のカートリッジを管理する場合には、カートリッジの挿入・取り出しの手順についてソフトウェアのマニュアルを参照してください。

#### 3 . 1 . 1 カートリッジの装填

##### (1) 扉の開け方

###### 方法 1

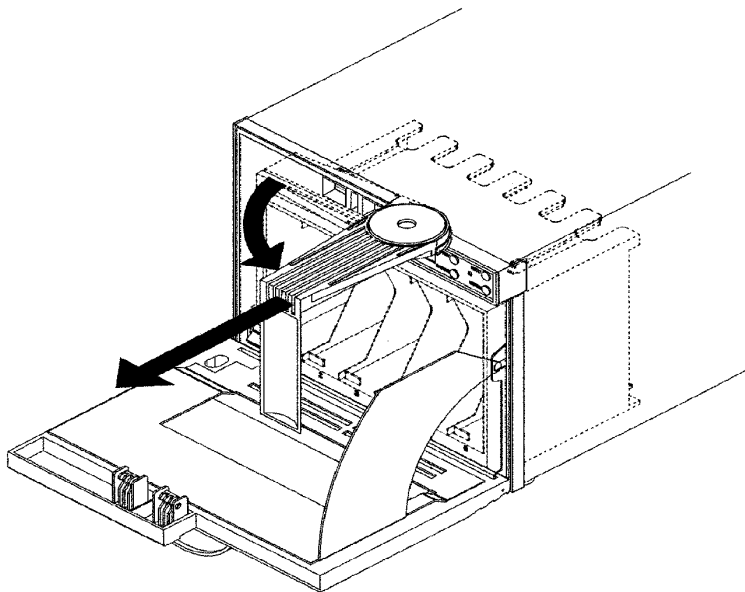
1. コントロールパネルにRELEASE DOORと表示が出るようになるまでNEXTボタンを押します。
2. ENTERを押します。
  - ・ドライブが空であれば、ドアのロックが解除されます。その時DOOR RELEASEDと表示されます。
  - ・カートリッジがドライブに装填されている場合は、EMPTY DRIVE NOが表示されます。ライブラリがホストソフトウェアで制御されているのであれば、ENTERまたはCANCELを押してアポートします。ホストソフトウェアを使ってドライブからカートリッジを取り出します。
  - ・そうでなければ、EMPTY DRIVE YESが表示されるまでNEXTまたはPREVを押し、それからENTERを押します。UNLOADING DRIVEと2分間ほど表示が出て、続いてDOOR RELEASEDと表示されます。
3. 前扉の取っ手を引き下げようようにして前面アクセスドアを静かに開きます。

###### 方法 2

1. CANCELボタンを3～5秒間押し下げたままにします。
2. 「カチリ」と音が聞こえたら、前扉の取っ手を引いて開けます。

(2) マガジンの取り出しまたは挿入

1. マガジンハンドルをマガジンに対し垂直になるまで前方に旋回させます。



2. マガジンをまっすぐに引き出します。

**Point**

マガジンの挿入は、上記と逆の手順です。

### (3) カートリッジの装填

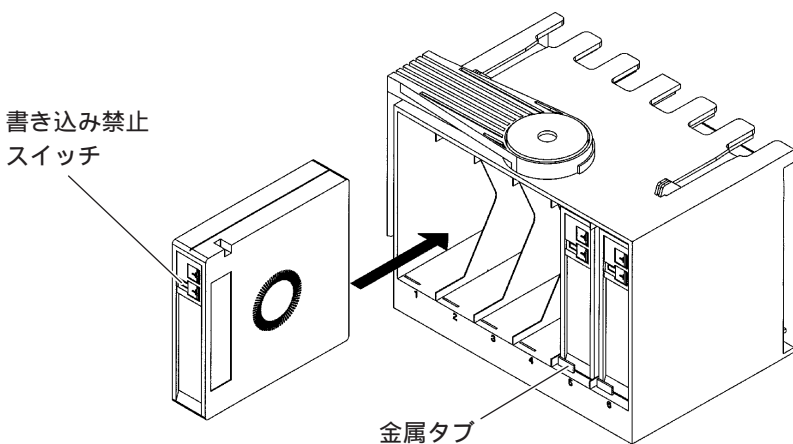
ライブラリはその内部に内蔵収納スロットを2つ（スロット番号7と8）、そしてリムーバブルマガジンに収納スロットを6つ備えています。

## ⚠注意

装置の左側の内部金属パネル部に触って帯電している静電気を放電します。

内部の電子部品に触れないように注意してください。

1. 書き込み禁止スイッチが表側の上方に来るようにして、「カチリ」と音がするまでカートリッジをマガジンに押し入れ装填します。  
金属製タブが出てきてカートリッジをロックします。  
（カートリッジの方向は、必ず下図に示す方向で装填してください。正しく装填されると金属タブが上がって、マガジン内に止まります。）

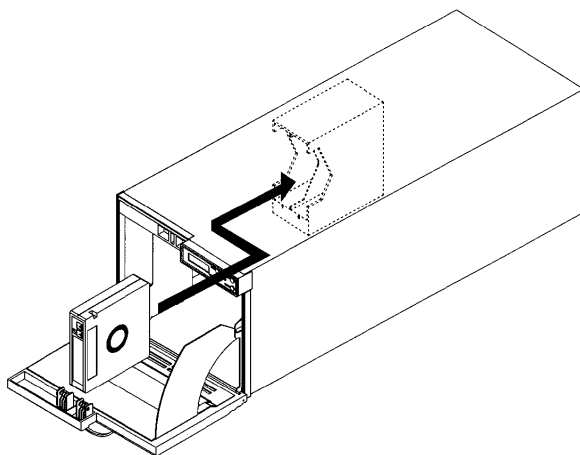


## Point

金属タブがすでに「上」位置にある場合は、カートリッジの縁でタブを押さえるようにしながら、カートリッジをスロットに滑り入れます。タブはすでに出た状態となっているので、ロック機構は「カチリ」という音を立てません。

カートリッジはマガジン内に「ロックされる」と、マガジンを傾けても抜け落ちることはありません。

2. 内蔵スロットにカートリッジを装填するときも、マガジンと同様に書き込み禁止スイッチが表側上方に来るようにして、「カチリ」と音がするまでカートリッジを内蔵スロットに押し入れ装填します。



3. マガジンハンドルがライブラリの正面側に向くようにして、「カチリ」と音がするまでマガジンをライブラリに押し入れます。
4. マガジンハンドルを左に回転させ収納します。
5. 前面アクセスドアを静かに閉じます。

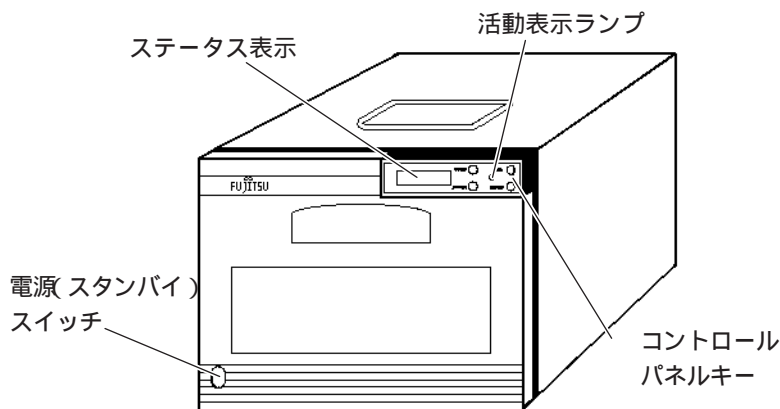
## Point

前面アクセスドアが閉じられるたびに、収納スロットの最新位置データがメモリに保管されるよう、INVENTORY CHECKが実行されます。このプロセスには約30秒かかります。このチェックは、ドアが完全に閉じられていない場合には実行されません。

### 3.1.2 カートリッジの取り出し

1. 扉を開けます（「3.1.1(1) 扉の開け方」を参照）。
2. マガジンを取り出します（「3.1.1(2) マガジンの取り出し」を参照）。
3. カチリと音がするまでカートリッジを押し込みます。するとカートリッジが幾分押し出されてきますので、取り出します。

## 3.2 コントロールパネル



1	コントロールパネルキー	<p>PREV : コントロールパネルの選択肢を一つ前に戻します。</p> <p>NEXT : コントロールパネルの選択肢を一つ先に進めます。</p> <p>ENTER : 現在表示されている選択肢を選択します。</p> <p>CANCEL : 現在の選択を取り消すか、または直前のメニューに戻ります。</p>
2	活動表示ランプ (作動状態表示灯)	<p>緑の継続点灯 : 電源オン</p> <p>緑の点滅 : テープにアクセス中</p> <p>茶色 : エラー発生 (「7. 困ったときには」を参照)。</p>
3	ドライブ/ライブラリ ステータス表示	<p>現在の操作またはドライブのステータスを表示します。星印(*)はそのタスクについてサブメニューがあることを示します。コントロールパネルのENTERを押すと、そのサブメニューにアクセスできます。</p>
4	電源(スタンバイ) スイッチ	<p>前扉の下部隅にあり、ライブラリの電源をスタンバイモードにします。</p>

### 3.2.1 ドライブ/ライブラリステータス

上の表示行は通常スロットのステータスまたは現行メニューを示します。

下の表示行は、コントロールパネルのメニューが選択されていない限り、ドライブ/ライブラリの活動状態を示します。

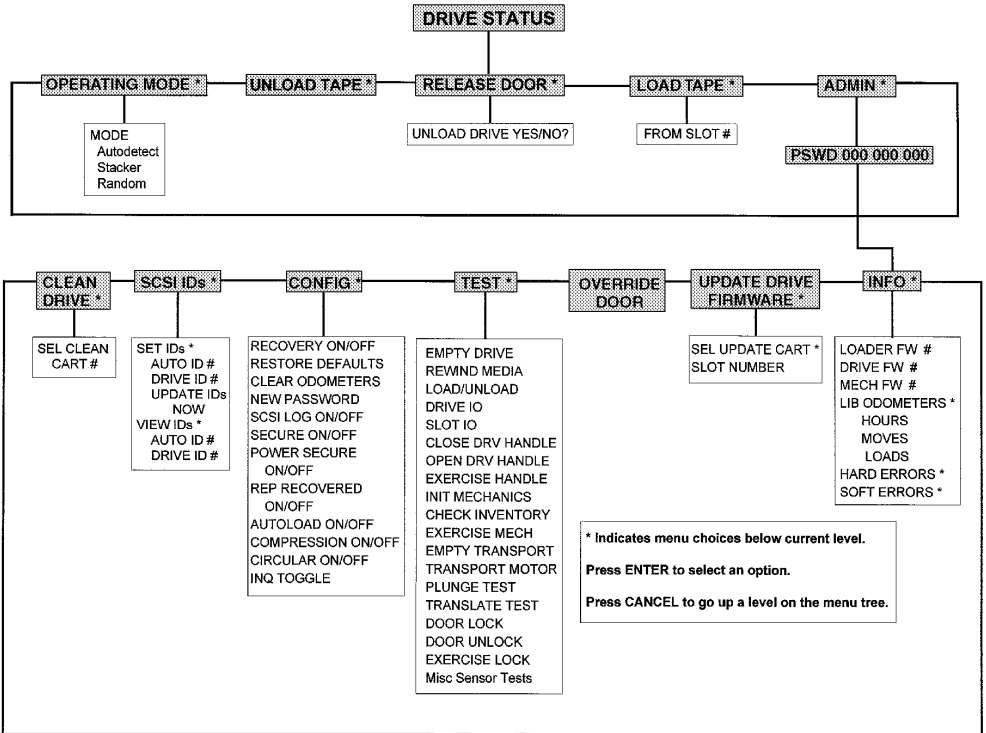
ドライブおよびライブラリのステータスは、次のインジケータにより示されます。

- ・ LOADER READY
- ・ LOADER ACTIVE
- ・ DRIVE IDLE
- ・ CLEANING
- ・ WRITING
- ・ READING
- ・ REWINDING
- ・ SEEKING
- ・ ERASING
- ・ LOADING
- ・ UNLOADING
- ・ NO DRIVE (ドライブが正常に機能しない場合に表示)



### 3.2.2 トップレベルのメニューオプション

メニューの間を移動するには、コントロールパネルキーを 사용합니다。あるメニューの項目が点滅している場合、ENTERを押すとそのオプション項目が選択されます。星印(\*)は、サブレベルメニューがあることを示します。



トップレベルメニューには、次の表に示すオプションがあります。ライブラリがパワーオンセルフテストを実行していないときにPREVまたはNEXTを押すと、これらのメニューが表示されます。

オプション	機能
RELEASE DOOR *	前扉のロックを解除します。「3.1.1(1)扉の開け方」を参照。
LOAD TAPE *	<p>カートリッジをスロットからドライブに移動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2行目にはFROM SLOTとスロット番号が表示されます。</li> <li>・目的のスロット番号が表示されるまでNEXTを押します。</li> <li>・スロット番号を選択するにはENTERを押して、スロット番号を選択します。</li> </ul> <p>最初のフルスロットがデフォルトのスロットです。カートリッジの入っているスロットのみが選択可能です。</p>
UNLOAD TAPE *	カートリッジをドライブから元のスロットに戻します。
ADMIN *	このメニューオプションの機能のすべてはパスワードで保護されています。「3.2.2(1) Adminメニューオプション」を参照。
OPERATING MODE *	<p>次に示す3つの作動モードがあり、詳細は次の表に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動検知モード：SCSIチェンジャコマンドを受け取るまでは、スタッカモードであるかのように動作します。それから、電源がオフ/オンとなるまでランダムモードで動作します。</li> <li>・スタッカモード：ドライブからのカートリッジ取り出し要求の後、続いてテープを装填します。</li> <li>・ランダムモード：カートリッジへのランダムなアクセスが可能です。</li> </ul>

自動検知	<p>ライブラリのデフォルトモードです。ドライブとライブラリは、いずれもSCSIバスを介してアクセスされます。ライブラリは、SCSIチェンジャコマンドを受け取るまでは、スタッカモードであるかのように動作します。チェンジャコマンドには、INITIALIZE ELEMENT STATUS、READ ELEMENT STATUS、POSITION TO ELEMENT、MOVE MEDIA、およびEXCHANGE MEDIAがあります。これらのコマンドの一つを受け取ったからは、ランダムモードであるかのように動作します。</p>
スタッカ	<p>モード：スタッカモードにあるとき、ライブラリコントローラはIDを使用せず、SCSIバスからのアクセスはできません。ドライブIDのみが使用可能です。このモード時には、ジャンパケーブルをライブラリの背面から取り外すことができますが、そのままにしておいてもシステムに何の影響もありません。</p> <p>作動：自動装填オプションは、CONFIGで使用できます。このオプションを選択すると、電源投入時に一番初めに使用可能なカートリッジが空のドライブに装填されます。デフォルト設定では自動装填はオフとなっており、ユーザーは前面パネルのLOADコマンドを使用してカートリッジを装填する必要があります。ホストが取出しSCSIコマンドを発行すると、ライブラリは最後のカートリッジが取り出されることになるまでドライブからのカートリッジの取り出し・挿入を行います。循環モードのオプションがCONFIGメニューで選択してあると、ライブラリは最初のカートリッジを再装填します。循環モードが無効になっており、最後のカートリッジが取り出されている場合には、ユーザーが追加のテープを装填するまでライブラリは動作を停止します。この間にクリーニングカートリッジに行き当たった場合、ライブラリはそれを通常のテープと同様にドライブに装填しますが、クリーニングサイクルが完了すると自動的に取り出します。ユーザーがクリーンドライブメニューから、クリーニングカートリッジの入っているスロットを指定しておく、ライブラリはそのスロットをとばします。</p>
ランダム	<p>モード：ランダムモードでは、ドライブおよびライブラリコントローラは、SCSIバスを介してアクセス可能です。ランダムモードを選択すると、スタッカ機能はすべて使用不能となります。カートリッジを移動するには、ライブラリに対しホストからのSCSIコマンドを使用するか、前面パネルメニューのLOAD / UNLOADを使う必要があります。</p> <p>作動：ランダムモードでのライブラリのSCSIインタフェースは、テープチェンジャ装置用SCSI-2コマンド仕様に準拠しています。</p>

## (1) Adminメニューオプション

オプション	機能
INFO *	ライブラリ内に保存されている情報を引き出します。
CLEAN DRIVE *	ユーザーがドライブのクリーニングを実行できます。
SCSI IDs *	ライブラリコントローラとドライブにSCSIアドレスを設定します。
CONFIG *	ライブラリの機能をカスタマイズします。「ライブラリの構成」を参照。
UPDATE DRIVE FW *	ユーザーがドライブ内のファームウェアを更新できます。
TEST *	内部ライブラリテストを実行します。「内部テストの実行」を参照。
OVERRIDE DOOR	非常時のドアロック解除であり、ライブラリの内部の状態は考慮しません。

ADMIN \* 機能はすべてパスワードにより保護されています。

オプションにアクセスする前に、パスワードを入力してください。

### パスワードの入力

ADMIN \* メニュー内の各機能にアクセスするには、数字によるパスワードが必要です。工場出荷時にデフォルトのパスワードとして000-000-000が設定されており、これは初めてライブラリに電源を投入する際に使用できます。

1. トップレベルのメニューから始めて、表示ウィンドウにADMIN \* が表示されるようになるまでNEXTを押します。
2. ENTERを押します。  
デフォルトパスワードが表示され、最初の3つのゼロが点滅します。
3. ENTERを押して点滅する最初のゼロのセットを受け入れるか、またはNEXT / PREVを押して値を変更します。
4. ENTERを押して次に点滅するセットを受け入れるか、またはNEXT / PREVを押して値を変更します。
5. ENTERを押して点滅する最後のセットを受け入れるか、またはNEXT / PREVを押して値を変更します。  
INFO \* と表示がでます。
6. 目的とする機能が表示されるまでPREVまたはNEXTを押し、表示されたらENTERを押します。

機密性が必要な場合、ライブラリを初めて使用する際にこのパスワードを変更します。新規パスワードは記録して安全に保管しておいてください。

## パスワードの変更

ADMIN \* / CONFIG \* / NEW PASSWORD

許可された者のみがライブラリにアクセスし動作設定を変更できるようにパスワードを変更します。

### Point

新規パスワードは確実に記録して安全に保管しておいてください。パスワードが分からなくなった場合、担当保守員のみがデフォルトパスワードを復元できますが、復旧に時間がかかります（ファームウェアの再インストールが必要となります）。

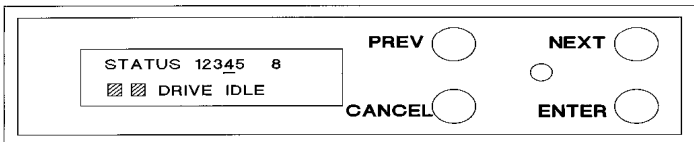
1. 「パスワードの入力」のステップ1～6を実行します。
2. NEXTをCONFIG \*が表示されるまで押し、次にENTERを押します。
3. NEXTまたはPREVをNEW PASSWORDが表示されるまで押し、次にENTERを押します。  
新たに000 000 000が表示され、ゼロの最初のセットが点滅します。
4. NEXTまたはPREVをパスワードの最初の部分の新しい数字が表示されるまで押し、次にENTERを押してそれを選択します。  
ゼロの2番目のセットが点滅します。
5. NEXTまたはPREVをパスワードの2番目の部分の新しい数字が表示されるまで押し、次にENTERを押してそれを選択します。  
ゼロの最後のセットが点滅します。
6. NEXTまたはPREVをパスワードの3番目の部分に割り当てようとする新しい数字が表示されるまで押し、次にENTERを押してそれを選択します。  
PASSWORD CHANGEDの表示が現われ、パスワードが不揮発性RAMに保存されたことを示します。
7. CANCELを3度押して「ready」状態に戻します。  
パスワードを変更した後、ライブラリの電源をオフにしオンにすることで新規パスワードをフラッシュROMに保存できます。こうすることにより、ライブラリの電源が10日を超える期間切られていた場合にも、パスワードの回復が可能です。このステップを実行しない場合、パスワードの変更は失われることがあります。電源のオフ・オンをする前にシステム管理者に確認を取ってください。

## メニューオプションの選択方法

1. 変更可能なメニューオプションが点滅しているときには、ENTERを押してそのオプションを選択するか、またはPREVあるいはNEXTを押してその他使用できるオプションを表示できます。
2. ENTERを押して点滅している項目を選択します。  
「ライブラリディスプレイメニューツリー」にコントロールパネルから使用できるライブラリメニューオプションを示します。網かけボックスの下に記されている機能を選択するには次のようにします。
  - a. 対象オプションが表示されたときにENTERを押します。
  - b. PREVまたはNEXTを押して、リストをスクロールします。
  - c. 表示されている動作を実行するにはENTERを押します。

### 3.2.3 カートリッジのステータス表示例

次の例は、ライブラリが準備完了状態であるときの表示を示しています。



- 上の行の数字は、1、2、3、5、8の各スロットにカートリッジが入っており、ドライブにはカートリッジ4があり、スロットの6と7は空であることを示しています。
- ・点滅している番号は、そのカートリッジがスロットまたはドライブから移動中であることを示します。
  - ・カートリッジがドライブ内にある場合は、その数字は保持され、下線が付きます（上図のカートリッジ4）。
  - ・収納スロットまたはライブラリが空である場合、上の行にはSTATUS EMPTYと表示が出ます。下の行の表示は、LOADER READYまたはドライブの活動状態メッセージ、それに次のいずれか一つのインジケータ（上図では斜線の入ったボックスで表している）を含むことがあります。

ドライブにクリーニングが必要な場合は、常にCが表示されます。ドライブがアクティブでない場合にはCLEAN DRIVEも同様に表示されます。  
カートリッジが書き込み禁止である場合、wpが表示されます。

## Point

メニューオプションにあるとき（テストメニューを除く）は、3分間ユーザーの操作がないと、ライブラリはドライブステータス表示に切り替わります。

### 3.2.4 SCSI IDの設定または参照

ADMIN \* / SCSI IDs \*

SCSI IDsを選択すると、2つのオプションが提示されます。

- ・ SET IDs \* は、ライブラリとドライブにそれぞれSCSI IDを割り当てます。
  - ・ VIEW IDs \* は、ライブラリコントローラとドライブの各設定を表示します。
- 下表に工場出荷時の設定を示します。

デバイス	工場出荷時のSCSI ID
ライブラリ ID	3
ドライブ ID	4

#### (1) SCSI IDの設定

ADMIN \* / SCSI IDs \* / SET IDs \*

1. SET IDs \* が表示されたときにENTERを押します。
  - ・ AUTOLOADER ID #、DRIVE ID #、またはUPDATE IDS NOW (この最後の機能はID変更後に保存する際使用) が表示されます。
  - ・ AUTOLOADER ID #はライブラリコントローラの現行SCSI IDを指します。DRIVE ID #はドライブの現行SCSI IDのことです。
2. NEXTを変更しようとする設定が表示されるまで押し、次にENTERを押します。現行SCSIアドレスが点滅します。
3. NEXTまたはPREVを新たなSCSIアドレスが表示されるまで押し、次にENTERを押します。
4. NEXTをUPDATE IDs NOWが表示されるまで押し、次にENTERを押します。次のメッセージのうちの一つが表示されます。
  - ・ ドライブとコントローラに同一のIDが設定された場合、CONFLICT ABORTEDと表示が現われ、続いてSET IDs \* が表示されます。
  - ・ 新規設定が受け入れられた場合、IDs SAVEDに続いてSCSI IDs \* と表示が現れます。
  - ・ SCSI IDsを設定しようとしているときにドライブのシリアル通信エラーが検出された場合、DRV CONNECT ERRと表示が現われ、続いてIDs NOT CHANGEDが表示されます。入力した変更は失われ、表示はSCSI IDs \* メニューに戻ります。

5. CANCELを3度押して、「ready」状態に戻します。

アドレスの変更後には、ホストコンピュータが新規SCSI IDを認識できるようホストを再起動する必要があります。お使いのシステムでの正しい手順を、システム管理者に問い合わせるか、OSのマニュアルで確認してください。設定を変更した後、ライブラリの電源をオフにしオンにすることで新規設定をフラッシュROMに保存できます。こうすることにより、ライブラリの電源が10日を超える期間切られるようなことがあっても、設定の回復が可能です。このステップが実効されず、ライブラリの電源が10日を超える期間切られた場合新規設定は失われることがあります。

## Point

SCSI IDは、工場出荷時ライブラリID : 3、ドライブID : 4となっていますが、コントロールパネルから

ADMIN \* / CONFIG \* / RESTORE DEFAULTS で設定情報のデフォルト化を実施すると、SCSI IDはライブラリID : 1、ドライブID : 0になります。

## (2) SCSI IDの参照

ADMIN \* / SCSI IDs \* / VIEW IDs \*

1. ADMIN \*メニューの中にあるSCSI IDs \*メニューに入ります。
2. NEXTをVIEW IDs \*が表示されるまで押します。それからENTERを押します。
3. AUTOLOADER ID #またはDRIVE ID #が表示されます。  
(AUTOLOADER ID #はライブラリコントローラの現行SCSI IDのことであり、DRIVE ID #はドライブの現行SCSI IDのことです)。
4. NEXTまたはPREVを押すと、他方のIDが表示されます。
5. CANCELを3度押すと、「ready」状態に戻ります。



## 4 . カートリッジの使用と維持

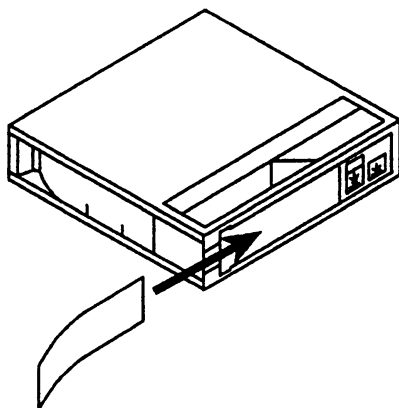
### 4 . 1 カートリッジのラベル付け

---

バックアップアプリケーションソフトウェアは、次のような情報の記録維持を必要とすることがあります。ラベルに記入しておくくと便利です。

- ・ フォーマットまたは初期化の日付
- ・ カートリッジのオーナー（グループ / 部門、その他）
- ・ 保存の目的（バックアップ、OSの旧バージョン、その他）

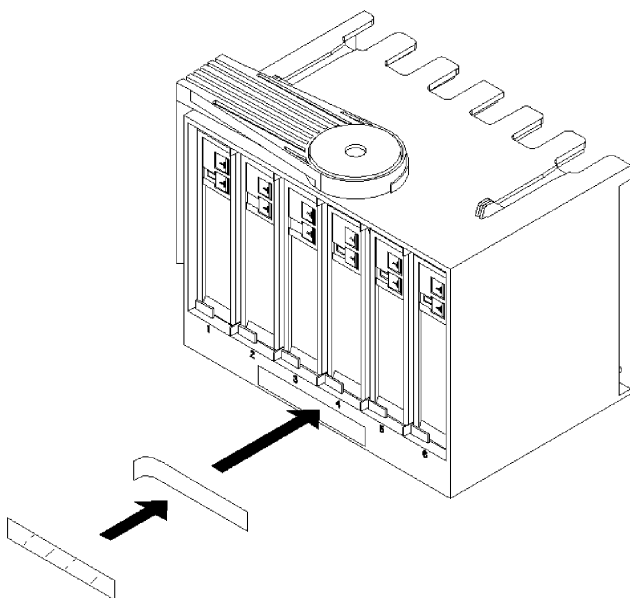
下図に示すように、ラベルをカートリッジのおもてのスロットにすべり込ませます。



## 4.2 マガジンのラベル付け

---

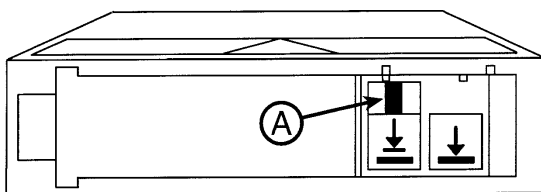
1. マガジンに付いている透明のラベルホルダーを、押し込むようにしてからスライドさせ取り外します。
2. マガジンに付属のブランクラベルをラベルホルダーから取り出します。
3. 中身を示す情報をラベルに記します。
4. ラベルをマガジン下部のラベル用スロットに差し入れます。
5. 透明ラベルホルダーをラベルの上に被せるようにして、ラベルを固定します。



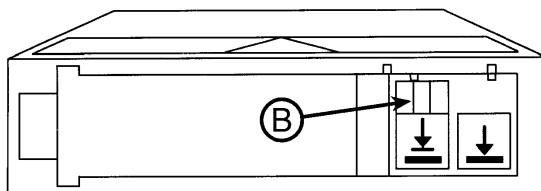
## 4.3 カートリッジの書き込み禁止

書き込み禁止スイッチは、カートリッジへの追加データの書き込みを妨げます。書き込み禁止の設定を変えるには、書き込み禁止スイッチを次のように動かします。

- ・ A位置にすると、カートリッジへのデータの書き込み禁止となります。カートリッジのオレンジ色のインジケータは、書き込み禁止スイッチがオン状態であるときに見られます。



- ・ B位置では、データをカートリッジに書き込むことができます。カートリッジのオレンジ色のインジケータは、書き込み禁止スイッチがオフ位置にあるときは見えません。



書き込み禁止スイッチの位置がどちらにあると、カートリッジからデータは読み取れます。

## 4.4 カートリッジの維持

---

カートリッジの維持には次のガイドラインを守ってください。

してはならないこと：

- ・ カートリッジを磁界にさらす。
- ・ 電源オフ時にカートリッジをドライブに放置する。
- ・ カートリッジを高温または高湿度の環境にさらす。
- ・ カートリッジを水分または直射日光にさらす。
- ・ カートリッジを落としたり、カートリッジに何らかの物理的衝撃を与える。
- ・ カートリッジのふたを開け、カートリッジを汚染や物理的損傷の危険にさらす。
- ・ カートリッジ表面に触れる。
- ・ カートリッジを分解する。
- ・ 黒鉛筆や水性フェルトペン、その他ホコリを発生させるような筆記用具を使ってカートリッジのラベル付けをする。
- ・ ラベルを消去する。交換する。

すべきこと

- ・ カートリッジ外回りのホコリを湿らせた布で拭き取る。
- ・ カートリッジは平らにではなく立てて保管する。
- ・ カートリッジは、入っていたプラスチックの容器に入れ、温度18～28℃、相対湿度40%～60%で保管する。

## 5. ドライブのクリーニング

ADMIN \* / CLEAN DRIVE \*

ドライブのクリーニングにはクリーニングカートリッジを使用します。ドライブのメカニズムは、CLEAN DRIVEのステータスインジケータが表示された場合のみクリーニングするようにしてください（「3.2 コントロールパネル」を参照）。クリーニングカートリッジは20回のクリーニングサイクル後に交換が必要です。クリーニングカートリッジには、クリーニング回数の管理用ラベルがついています。本ラベルで必ずクリーニング回数を管理し、20回使用後は、クリーニングカートリッジを捨ててください。

1. トップレベルメニューから始めて、NEXTをADMIN \* がコントロールパネルに表示されるまで押し、次にENTERを押します。
2. パスワードを入力します。  
INFO \* が表示されます。
3. NEXTをCLEAN DRIVE \* が表示されるまで押し、次にENTERを押します。
  - ・クリーニングカートリッジのロット位置を指定した後で、ライブラリの電源がオフにされたり、前面アクセスドアが開けられている場合は、SET CLEAN DRIVE \* が表示されます。その場合はENTERを押し、ロット位置を選択してください。
  - ・クリーニングカートリッジのロット位置が指定されてから、ライブラリの電源がオフにされたり、前面アクセスドアが開けられていない場合は、CLN CART LOC # が表示されます（点滅する番号はクリーニングカートリッジの収納位置を示します）。収納ロット位置が正しい場合はENTERを押し、ステップ4に進んでください。別のロット位置を指定するときはNEXTまたはPREVを正しいロット位置が表示されるまで押して、それからENTERを押し、ステップ4に進みます。
4. テープがドライブ内にある場合、ドライブはクリーニングの前に空ける必要ありと告げるメッセージが表示されます。
  - ・ステップ3で指定したロット位置にクリーニングカートリッジがない場合、NOT CLEAN CARTが短時間表示され、続いてCLEAN FAIL # が表示されません。CANCELを2度押しと「ready」状態に戻ります。クリーニングカートリッジが入っていない場合は、空いているロットに1本挿入してください。
  - ・ドライブエラーが発生した場合には、FAILEDが表示され、続いてCLEAN DRIVEメニューが表示されます。
5. CANCELを2度押します。  
「ready」状態に戻ります。

## 6. バックアップ運用上の注意事項

バックアップ終了後は、カートリッジをドライブから出してください。  
カートリッジをドライブに入れたままにしておくと、テープにテンションがかかり、この状態が長く続くとテープを劣化させる原因となることがあります。  
バックアップ終了後は、カートリッジをドライブからマガジンに戻してください。

クリーニングカートリッジの使用回数を管理してください。

クリーニングカートリッジは20回使うことができます。

バックアップソフトによってヘッドクリーニングを自動化している場合は、使用回数を管理して、20回を超えないようにクリーニングカートリッジを交換してください。

データカートリッジは消耗品です。使用回数1000回を目安に媒体を交換してください。

データカートリッジの寿命は装置の設置環境（温度、湿度等の条件）によって変化します。ヘッドクリーニングを行っても媒体エラーが発生するようであれば、テープが劣化している可能性があります。

バックアップ媒体は複数の媒体をローテーションして使ってください。

媒体1巻に上書きしてバックアップしていると万バックアップ処理に失敗した場合、バックアップしたデータが失われるおそれがあります。

複数の媒体をローテーションして運用することによって、このような場合も被害を少なくすることができます。

データカートリッジに記録可能なデータ容量は変化することがあります。

本装置はテープの劣化等によってデータの書き込みに失敗すると書き込みに失敗した場所の次の領域に同じデータを書き直します。この処理が多発するとカートリッジ1巻に記録できる容量が減少します。

本装置はデータ圧縮機能を持っています。データの圧縮率は一般的に2倍程度になりますが、実際には圧縮するデータの種類によって変化します。圧縮ソフト等によって既に圧縮処理されたデータでは圧縮効果は期待できません。

データカートリッジをドライブの中に残したまま電源スイッチを切断すると、データカートリッジが元あったスロット位置を認識できないことがあります。特に停電などの後には、テープ位置の確認をしてください。

データカートリッジをドライブの中に残したまま電源スイッチを切断し、再投入すると、パネルからのunloadの指示が3～5分かかることがあります。

## 7. 困ったときには

- ・電話でのお問い合わせの前に、お手もとのライブラリのシリアル番号およびモデル番号を確認してください。シリアルおよびモデルの各番号は、ライブラリの左側面に記されています。
- ・ホストまたはアプリケーションソフトウェアに関連している可能性のある問題については、ホストシステムのマニュアルまたはアプリケーションソフトウェアの説明書をご覧ください。
- ・装置がSCSIバス上でアクティブである間は、電源を切り再投入するようなことはしないでください。SCSIバスがアクティブであるとき電源のオフ・オンをすると、データが失われたり、SCSIインタフェースの問題が発生したりします。

問題	処置
ライブラリの電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"><li>・電源ケーブルの接続を確認します。</li><li>・電源スイッチがオンとなっていることを確かめます。</li><li>・コンセントに電気がきていることを確かめます。</li><li>・電源ケーブルを正常と分かっているものと入れ替えてみます。</li><li>・依然としてライブラリの電源が入らない場合は、担当保守員に連絡してください。</li></ul>
パワーオンセルフテスト失敗。コントロールパネルに DEVICE FAILED が、次の行にエラーコードを伴って表示される。	<ul style="list-style-type: none"><li>・カートリッジとマガジンをすべて取り出してから、電源をいったん切り再投入します。セルフテストに合格したら、カートリッジおよびマガジンを元に戻します。</li><li>・パワーオンテストに再び失敗する場合は、エラーコードをメモし、担当保守員に連絡してください。</li></ul>
ライブラリの電源が、カートリッジがドライブにある状態で切れ、電源が回復後ライブラリは「ready」状態に戻らなかった。	<ul style="list-style-type: none"><li>・電源スイッチをいったん切り、入れ直してパワーオンセルフテストを実行します。</li><li>・ドライブに装填されているものを除き、マガジンおよびカートリッジを取り出して、電源をいったん切り再投入してみます。問題がなければ、カートリッジを再装填します。</li><li>・パワーオンテストがうまく行かなければ、電源を切り、担当保守員に連絡してください。</li></ul>
ディスプレイメッセージが一切現われない。	<ul style="list-style-type: none"><li>・電源ケーブルが接続されていることを確かめます。</li><li>・電源スイッチがオンとなっていることを確かめます。</li><li>・装置の電源をいったん切り、再投入します。</li><li>・うまく行かなければ担当保守員に連絡してください。</li></ul>

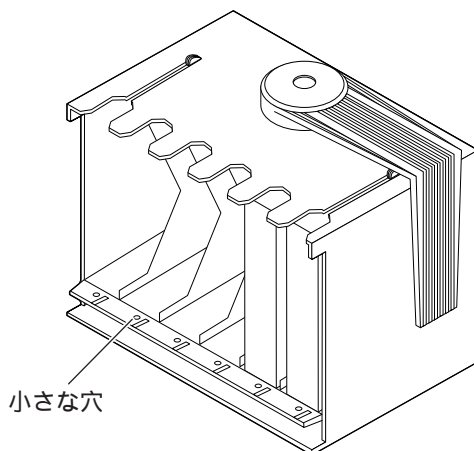
問題	処置
<p>マガジン挿入またはカートリッジの装填の作業中または後に、エラーメッセージが出る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テープがマガジン内に正しく挿入されているかを確認します（「3.1 カートリッジの装填または取り出し」を参照）。</li> <li>・ 正しいカートリッジのタイプが使用されているかを確認します（タイプIV）。</li> <li>・ コントロールパネルの作動状態表示灯が茶色であれば、ライブラリの電源をいったん切り再投入します。ドライブおよびステータスのインジケータが表示されたら、マガジンを再度装填してみます。</li> <li>・ SECURITY ENABLEDが表示される場合は、セキュリティオプションが設定されており、それがライブラリに対するカートリッジの装填や取り出しをはばんでいます。</li> <li>・ 依然としてFAILEDのメッセージが表示される場合は、担当保守員に連絡してください。</li> </ul>
<p>エラーコードHex62、OVERFULLが表示される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内蔵収納スロットからカートリッジを取り出します。</li> <li>・ 装置の電源をいったん切り、再投入します。</li> <li>・ うまく行かなければ担当保守員に連絡してください。</li> </ul>
<p>ドライブの SCSI IDを変更したが、新規ID が認識されない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ VIEW IDオプションを使用して、UPDATE IDsを選択した後で新規IDが保存されているかを確認してみます。</li> <li>・ 装置の電源をいったん切り再投入するか、ホストを再起動します。</li> </ul>
<p>管理メニューパスワードを思い出せない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デフォルトパスワード（000-000-000）を試してみます。デフォルトが拒否される場合は、担当保守員に連絡してください。</li> </ul>
<p>前面アクセスドアを開けようと試みたら RESERVEDのメッセージが現われた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホストまたはアプリケーションソフトウェアが、ある要素（スロットまたはドライブ）を予約していることがあり、その予約を取り消す必要があります。システムのマニュアルを参照して、テープの予約を取り消します。</li> <li>・ その要素の予約取り消しができない場合は、CONFIG *メニューのSET DEFAULTSオプションを使用して、予約をクリアします。</li> <li>・ セキュリティ構成が、カートリッジの取り出しを防ぐように設定されています。</li> </ul>



問題	処置
テストが開始されたが、中止する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CANCELを押します。現在実行中のテストループは終りまで続行され、それからテストは停止します。</li> </ul>
DO ISTAT TESTが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ライブラリの電源をいったん切り再投入するか、またはTEST *メニューのDO ISTAT TESTを実行します。</li> </ul>
カートリッジに書き込みできない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホストファイルシステムのアクセス権について調べてみます。</li> <li>・ 正しいカートリッジのタイプを使用しているかを確認します（タイプIV）。</li> <li>・ テープの書き込み禁止タブを調べて、書き込み可能状態であることを確認します。「4.3 カートリッジの書き込み禁止」を参照。</li> <li>・ アプリケーションソフトウェアのマニュアルを調べます。</li> </ul>
カートリッジを読み取れない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホストファイルシステムのアクセス権について調べてみます。</li> <li>・ 正しいカートリッジのタイプを使用しているかを確認します（タイプIV）。</li> <li>・ アプリケーションソフトウェアのマニュアルを調べます。</li> <li>・ ドライブのクリーニングをしてから、テープの読み取りを再試行します。</li> </ul>
カートリッジがトランスポート内につかえている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TEST *メニューでEMPTY TRANSPORT TESTを実行します。</li> <li>・ うまく行かなければ、電源を切ります。</li> <li>・ ドアを開け、マガジンを取り出します。</li> <li>・ カートリッジをトランスポートから注意して引き出します。取り出せない場合は、上部のアルミのシャフトを回してテープを排出します。カートリッジのケースに損傷がないか調べ、あればそのカートリッジは廃棄します。</li> <li>・ マガジンを元の位置に戻します。</li> <li>・ 装置の電源を入れます。</li> <li>・ 問題が再発したり、カートリッジがトランスポートから取り出せないような場合には、担当保守員に連絡してください。</li> </ul>

問題	処置
カートリッジがマガジンスロット内につかえている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ライブラリの電源を切ります。</li> <li>・ マガジンを取り出して、障害物がないか調べ、あれば取り除きます。</li> <li>・ カートリッジを押してロックを解除し、注意して取り出します。</li> <li>・ つかえているカートリッジの下側の銀色のタブを押し下げて、カートリッジを引き出します。</li> <li>・ うまく行かなければ担当保守員に連絡してください。</li> </ul>
カートリッジが内蔵スロット内につかえている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ライブラリの電源を切ります。</li> <li>・ マガジンを取り出します。</li> <li>・ カートリッジを注意して取り出します。</li> <li>・ つかえているカートリッジの下側の銀色のタブを押し下げて、カートリッジを引き出します。</li> <li>・ うまく行かなければ担当保守員に連絡してください。</li> </ul>
スロットがブロックされている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ドアを開け、マガジンを取り出します。</li> <li>・ 障害物がないか調べ、あれば取り除きます。電源をいったん切り再投入します。</li> <li>・ うまく行かなければ担当保守員に連絡してください。</li> </ul>
マガジンが中に入っていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マガジンが正しく挿入されているか確かめます。「3.1.1(2) マガジンの取り出しまたは挿入」を参照。</li> <li>・ ドアを開けます。障害物がないか調べ、あれば取り除きます。</li> <li>・ マガジンレール(ライブラリの底部と天井部)、マガジンスロット、およびマガジンの外回りに損傷や摩耗がないか調べます。必要ならばマガジンを交換します。</li> <li>・ うまく行かなければ担当保守員に連絡してください。</li> </ul>
マガジンが出てこない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ドアを開けます。障害物がないか調べ、あれば取り除きます。</li> <li>・ うまく行かなければ担当保守員に連絡してください。</li> </ul>
ピッカーのアラインメント不整。 ピッカーが拾わない。 カートリッジ/ドライブ/ピッカーのアラインメント不整。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当保守員に連絡してください。</li> </ul>

問題	処置
クリーニングインジケータが頻発して現われる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存カートリッジを新品のカートリッジと交換します。次項の「ドライブクリーニングエラー」を参照。</li> <li>・ クリーニングカートリッジを交換します。</li> <li>・ うまく行かなければ担当保守員に連絡してください。</li> </ul>
ピッカーが2つの恒久収納スロットにアクセスしない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ドアを開けます。障害物がないか調べ、あれば取り除きます。</li> <li>・ うまく行かなければ担当保守員に連絡してください。</li> </ul>
SCAN MAGAZINEコマンドでスロット位置のすべてを見つけられなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マガジンの底部内側縁にある小さな穴がすべてきれいであるか確かめます（下図を参照）。</li> <li>・ マガジンが正しく挿入されているか確かめます。「3.1.1(2) マガジンの取り出しまたは挿入」を参照。</li> </ul>
カートリッジがドライブから取り出せない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電源を再投入して、コントロールパネルからUNLOAD TAPEを実施します。UNLOADは、3~5分かかります。</li> <li>・ うまく行かなければ担当保守員に連絡してください。</li> </ul>



## ドライブクリーニングエラー

ドライブクリーニングエラー発生の原因となる状況を説明します。

テープカートリッジが原因であるかもしれないときには、CLEAN DRIVEのメッセージが表示されます。

クリーニングの問題が解消されないような場合には、担当保守員にお問い合わせください。

現象	原因	処置
まったく新品のカートリッジを使用しているのにドライブクリーニングのメッセージが表示された。	テープ製造工程で屑がドライブヘッドに付着しました。	<ul style="list-style-type: none"><li>・「5. ドライブのクリーニング」のドライブクリーニング手順でドライブをクリーニングします。</li><li>・短期間内に再度同じメッセージが表示される場合には、カートリッジを交換してください。</li></ul>
古く、使用頻度の高いカートリッジを装填したら、ドライブクリーニングのメッセージが表示された。	頻繁なカートリッジ装填・取り出しにより生じたホコリがテープカートリッジに堆積し、ドライブヘッドに付着しました。	<ul style="list-style-type: none"><li>・カートリッジの外側を湿らせた布で拭き取ります。</li><li>・「5. ドライブのクリーニング」にあるドライブクリーニング手順でドライブをクリーニングします。</li></ul>
古く、使用頻度の高いカートリッジを使用していて、クリーニングメッセージが再度表示された。	クリーニングカートリッジが交換を必要としているか、またはカートリッジが損傷しているのでしょうか（損傷したカートリッジは、クリーニングカートリッジの不必要な使用という結果になることがあります）。	<ul style="list-style-type: none"><li>・エラーメッセージを消去して、カートリッジが読み取り可能であるかを確認します。</li><li>・カートリッジの読み取りを再実行します。</li><li>・カートリッジが読み取れる場合には、その損傷カートリッジから別のカートリッジにデータをバックアップしてから、損傷カートリッジは廃棄します。</li><li>・クリーニングカートリッジを交換します。</li></ul>

## 8 . 仕様

### 基本仕様

項目	仕様	備考
品名	DLTライブラリ装置	
型名	GP-DLL201	
インタフェース	FAST SCSI-2 Single-Ended	ケーブル長2.5m
SCSIコネクタ形状	ハーフピッチ 68pin	
データ記憶容量	160GB (圧縮時約320GB)	
データ転送速度	1.5MB/s (媒体 - Drive間)	
データ記録密度指定	20GB	

### 設置仕様

項目	仕様		備考	
外形寸法	幅	234mm		
	奥行	559mm		
	高さ	197mm		
重量	13.2kg			
入力電源	電圧	AC100V ± 10%		
	相数	単相		
	周波数	50/60Hz + 2%、 - 4%		
所要電力量	最大120W			
発熱量	103kcal/h			
環境条件	装置状態	稼働中	休止中	
	温度	10 ~ 35	0 ~ 50	温度勾配10 /h以下
	湿度	20 ~ 80%RH	10 ~ 80%RH	
	最高湿球温度	26		結露のないこと
電源ケーブル長	2m			
電源コンセント仕様	125V/15A、2極接地型 神保1136/1132 ACE20/120 松下WF3002			

# 付録A エラーメッセージの意味

エラーコードを受け取ると、コントロールパネルの表示は、次のエラーコードと文字列を交互に示します。

DEVICE FAILED  
ERROR CODE 97H

DEVICE FAILED  
PUT\_MAG\_TOUT

1. ENTERを押して、エラーログの項目を参照します。
2. NEXTを押して、次のような情報を参照します。
  - ・ 現場で交換可能な装置 (FRU)
  - ・ 動作タイプ
  - ・ ソース
  - ・ 宛先1
  - ・ 宛先2
  - ・ 積算計
  - ・ エラーリスト (最新5件のトランスポートエラー)
  - ・ エラーカウント数 (この移動でのエラー数)

なお、同じエラーコード情報がエラーログにあり、次のメニューパスによりアクセス可能となっています。 : ADMIN \* / INFO \* / HARD ERRORS \*

エラーコード表示	意味	対処法
DEVICE FAILED ERROR CODE 00H	ドライブコマンドのタイムアウト。	電源を再投入してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 01H	ROM checksum error.	電源再投入で、再発する時は弊社担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 02H	Register error.	
DEVICE FAILED ERROR CODE 03H	Microprocessor error.	
DEVICE FAILED ERROR CODE 04H	Controlled area of RAM checksum error.	
DEVICE FAILED ERROR CODE 05H	RAM test error.	
DEVICE FAILED ERROR CODE 06H	SCSI chip error.	
DEVICE FAILED ERROR CODE 07H	Library controller chip error.	

エラーコード表示	意味	対処法
DEVICE FAILED ERROR CODE 2DH	ドアが開いています。	確実にドアを閉めます。
DEVICE FAILED ERROR CODE 32H	内部テストを実行するには無効な構成です。正しい場所にカートリッジのない状態で前面パネルのテストを実行しようとしています。	選択したテスト番号に誤りが無いか確認してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 33H		カートリッジが収納スロットに納まっており、エレベータまたはドライブにはないことを確かめてください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 34H	INVENTORY CHECK テストを実行する必要があります。	INVENTORY CHECKテストを実行してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 35H	不明の理由により内部テストに失敗しました。	電源再投入で、再発する時は弊社担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 36H	指定されたエレメントは予約済です。	マガジンおよびカートリッジが正しくセットされていることを確かめてから、電源を再投入してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 3CH	"Move to."エラー（カートリッジの移動中のエラー）	
DEVICE FAILED ERROR CODE 3FH	"Put magazine in."エラー（カートリッジをマガジンへ入れる時にエラー）	
DEVICE FAILED ERROR CODE 40H	"Get magazine out."エラー（カートリッジをマガジンから取出す時にエラー）	
DEVICE FAILED ERROR CODE 42H	"Put drive in."エラー（カートリッジをドライブへ入れる時にエラー）	
DEVICE FAILED ERROR CODE 43H	"Get drive out."エラー（カートリッジをドライブから取出す時にエラー）	
DEVICE FAILED ERROR CODE 5EH	"Powerfail clear path."エラー	
DEVICE FAILED ERROR CODE 5FH	"Powerfail restore cartridges."エラー	
DEVICE FAILED ERROR CODE 63H	LOADコマンドのタイムアウト。	電源を再投入してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 80H	No error.	

エラーコード表示	意味	対処法
DEVICE FAILED ERROR CODE 81H	Invalid Command	装置が未定義の内部コマンドもしくは未定義のパラメータを受けました。 電源再投入で、再発する時は弊社担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 82H	未定義エラー	電源再投入で、再発する時は弊社担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 83H		
DEVICE FAILED ERROR CODE 84H	パワーオン又はリセット時にカートリッジがエレベータ内にあります。	エレベータが空であることを確認してから、電源を再投入してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 85H	エレベータを初期化できません。	マガジンおよびカートリッジが正しくセットされていることを確かめてから、電源を再投入してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 86H	初期化時に PUSHPOS1が見つかりません。	マガジンおよびカートリッジが正しくセットされていることを確かめてください。完了したら電源を再投入してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 87H	機械的初期化時にカートリッジをエレベータに、またはエレベータから移動中にタイムアウト。	各カートリッジが収納スロットに入入りすることを確認してからそれぞれを元に戻します。完了したら電源を再投入してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 88H	機械的初期化時にエレベータのホームポジションを探していてタイムアウト。	カートリッジがエレベータの動きを妨げていないことを確認してから、電源を再投入してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 89H	初期化時に PUSHPOS2 のポジションが見つかりません。	マガジンおよびカートリッジが正しくセットされていることを確かめてください。完了したら電源を再投入してください。



エラーコード表示	意味	対処法
DEVICE FAILED ERROR CODE 8AH	初期化時に DRIVPOSのポジションが見つかりません。	電源再投入で、再発する時は弊社担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 8BH	ドライブハンドルが取付いていない、又は初期化時に閉じる際にタイムアウト。	
DEVICE FAILED ERROR CODE 8CH	PUSHER TEST 中のタイムアウト。ホームポジションを過ぎてしまった。	
DEVICE FAILED ERROR CODE 8DH	PUSHER ホームポジションを検出する PUSHER TEST でタイムアウト。	
DEVICE FAILED ERROR CODE 8EH	PUSHER TEST 中のタイムアウト、又はエレベータホームポジションを PUSHER ホームポジションから PUSHPOS2への移動中のタイムアウト。	
DEVICE FAILED ERROR CODE 8FH	未定義エラー	電源再投入で、再発する時は弊社担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 90H	カートリッジ UNLOAD中にドライブのカートリッジが無い。	マガジンおよびカートリッジが正しくセットされていること、エレベータの移動走路上に異物等が無いか確認してください。 電源再投入後、再発する時は弊社担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 91H	PUSHPOS1 (ドライブからエレベータへカートリッジを UNLOAD する前のドライブの正面のポジション) 検出できずタイムアウト。	
DEVICE FAILED ERROR CODE 92H	カートリッジ UNLOAD中にドライブハンドルを開けずタイムアウト。ライブラリコントローラは本エラーコードを受信後ドライブが UNLOAD 状態ならば本エラーとなる。ドライブが UNLOAD 状態ならばコマンドを再発行することによりリトライされる。ドライブが UNLOAD 状態でないならば UNLOAD コマンドは本コマンドのリトライ前に発行しなければならない。	
DEVICE FAILED ERROR CODE 93H	カートリッジ UNLOAD中に PUSHERホームポジションが見つからずタイムアウト。	

エラーコード表示	意味	対処法
DEVICE FAILED ERROR CODE 94H	カートリッジをドライブからエレベータに移動中にタイムアウト。このエラーが発生した場合、ローダコントローラはカートリッジをドライブに戻そうとします。	マガジンおよびカートリッジが正しくセットされていることを確かめてください。完了したら電源を再投入してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 95H	カートリッジの UNLOAD 中、エレベータをドライブ LOAD ポジションからスロットポジションへ移動中のタイムアウト。	マガジンおよびカートリッジが正しくセットされていることを確かめてください。完了したら電源を再投入してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 96H	カートリッジ UNLOAD 中に PUSHPOS1 検出できずタイムアウト。	
DEVICE FAILED ERROR CODE 97H	カートリッジの取り出し動作でカートリッジをスロットに戻し中にタイムアウト。このエラーは長引くマガジンのスキャン（マガジンに入っていたカートリッジがエレベータにある場合）時にも発生します。	カートリッジをマガジンに移動中に障害が発生した場合、銀色のタブが「上」位置にあることを確認してください。上位置になければ、カートリッジを正しい方向に装填し、取り出してタブを「上」位置にします。エラーが内蔵スロットで発生した場合は、銀色のタブが「上」位置にないことを確認します。タブを引き込ませるには、カートリッジを逆に装填します。
DEVICE FAILED ERROR CODE 98H	カートリッジ UNLOAD 中の PUSHER ホームポジションが見つからずタイムアウト。本エラーはカートリッジがマガジンに戻って終了後に起きます。	マガジンおよびカートリッジが正しくセットされていることを確かめてください。完了したら電源を再投入してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE 99H	カートリッジ UNLOAD 中にエレベータが DRIVPOS へ移動中にタイムアウト。	
DEVICE FAILED ERROR CODE 9AH	CARTRIDGE UNLOAD コマンド中に PUSHPOS2 が見つからずタイムアウト。	
DEVICE FAILED ERROR CODE 9BH	UNLOCK DOOR コマンド時にロック解除出来ませんでした。	電源再投入後、再発する時は弊社担当保守員に連絡してください。

エラーコード表示	意味	対処法
DEVICE FAILED ERROR CODE 9CH	SCAN MAGAZINEコマンド実行時に有効なスロット位置のすべてを見つけれませんでした。	マガジンを取り出し、小さな内部レール穴に沿って障害物がないか調べます（30ページの図を参照）。マガジンを元通りにセットします。
DEVICE FAILED ERROR CODE 9DH	タイムアウト（SCAN MAGAZINEコマンド中にカートリッジ認識ができなかった）。	
DEVICE FAILED ERROR CODE 9EH	SCAN MAGAZINEコマンド中にDRIVPOSを認識できずタイムアウト。	
DEVICE FAILED ERROR CODE 9FH	ドアのロックコマンド時またはスキャンコマンド時にドアのロックが解除状態である場合、ドアをロックできませんでした。	電源再投入後、再発する時は弊社担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE A0H	LOAD CARTRIDGEコマンド中にドライブの中に既にカートリッジがある。	正しい場所にカートリッジのない状態でコマンドを実行しようとしています。マガジンおよびカートリッジが正しくセットされていることを確かめてください。
DEVICE FAILED ERROR CODE A1H	LOAD CARTRIDGEコマンド中に選択されたスロットにカートリッジが無い。	
DEVICE FAILED ERROR CODE A2H	LOAD CARTRIDGEコマンド中にエレベータをスロットポジションに移動時タイムアウト。	
DEVICE FAILED ERROR CODE A3H	LOAD CARTRIDGEコマンド中にPUSHPOS1をみつけられずタイムアウト。	
DEVICE FAILED ERROR CODE A4H	LOAD CARTRIDGEコマンド中にカートリッジをスロットからエレベータに移動時タイムアウト。	
		各カートリッジが収納スロットに出入りすることを確認してからそれぞれを元に戻します。完了したら電源を再投入してください。

エラーコード表示	意味	対処法
DEVICE FAILED ERROR CODE A5	LOAD CARTRIDGEコマンド中にPUSHERホームポジションを検出できずタイムアウト。	マガジンおよびカートリッジが正しくセットされていること、エレベータの移動走路上に異物等が無いか確認してください。電源再投入後、再発する時は弊社担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE A6HH	LOAD CARTRIDGEコマンド中にエレベータをDRIVE-LOADポジションに移動時タイムアウト。	
DEVICE FAILED ERROR CODE A7H	LOAD CARTRIDGEコマンド中にドライブハンドルを開けずタイムアウト。	
DEVICE FAILED ERROR CODE A8H	LOAD CARTRIDGEコマンド中にカートリッジをエレベータからドライブに移動時にタイムアウト。	
DEVICE FAILED ERROR CODE A9H	LOAD CARTRIDGEコマンド中にカートリッジをドライブに装填するためのPUSHPOS2を見つけられずタイムアウト。	
DEVICE FAILED ERROR CODE AAH	本コードはエラーではありません。1000サイクルを示すエラートレイスバッファとして使用できます。	
DEVICE FAILED ERROR CODE ABH	PUSHPOS1（ドライブの正面のラックウェイティングポジション）が見つからずタイムアウト。	マガジンおよびカートリッジが正しくセットされていること、エレベータの移動走路上に異物等が無いか確認してください。電源再投入後、再発する時は弊社担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE ACH	ドライブハンドルを閉じる際にタイムアウト。	ドライブが空である場合は、EXERCISE HANDLEテストを10ループ実行します。電源再投入後、再発する時は弊社担当保守員に連絡してください。カートリッジがドライブ内にある場合、電源を再投入し、コントロールパネルのメニューのUNLOAD TAPESを使用してカートリッジを取り出します。カートリッジが取り出されたらEXERCISE HANDLEテストを実行します。

エラーコード表示	意味	対処法
DEVICE FAILED ERROR CODE ADH	ドライブパークポジションに移動する際にドライブロードポジションを認識できずタイムアウト。	マガジンおよびカートリッジが正しくセットされていること、エレベータの移動道路上に異物等が無いが確認してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE AEH	A4エラー発生後スロットにカートリッジを戻す際にタイムアウト。本エラーはローダコントロールがスロットからエレベータにカートリッジを運ぼうとして失敗した時のみ発生する。ローダコントロールはスロットにカートリッジを戻そうとした。それが失敗したならば本エラーがおきる。	電源再投入後、再発する時は弊社担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE AFH	未定義エラー	電源再投入で、再発する時は弊社担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE B0H		
DEVICE FAILED ERROR CODE B1H	"Standalone Mode"エラー	電源再投入で、再発する時は弊社担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE B2H	コマンドが実行されていないのにドアが開いています。電源投入後ローダがドアの状態を覚えていと起こる。	ドアを確実に閉めてから、電源を再投入してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE B3H	ユニットがリセットされた、又はユニットに電源が入った。	電源再投入後、再発する時は弊社担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE B4H	プレポジショニングコマンド中にエレベータをプレポジショニングしようとした時タイムアウト。	エレベータの移動道路上に異物等が無いが確認してください。 電源再投入後、再発する時は弊社担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE B5H	エレベータ動作時にスロットが一つとばされました。本エラーはカートリッジのロード/アンロード又はプレポジショニングコマンド中に起る。	電源を再投入して、コマンドを再試行してください。

エラーコード表示	意味	対処法
DEVICE FAILED ERROR CODE B6H	未定義エラー	電源再投入で、再発する時は弊社 担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE B7H	シリアルポートのテストに失敗 した。	
DEVICE FAILED ERROR CODE B8H	ドライブハンドルを開けませ ん。	ドライブが空である場合は、 EXERCISE HANDLE テストを10 ループ実行します。電源をいっ たん切り、再投入します。エ ラーが再発する場合には、弊社 保守員に連絡してください。 カートリッジがドライブ内にあ る場合、電源を再投入し、コン トロールパネルのメニューの UNLOAD TAPESを使用してカー トリッジを取り出します。カー トリッジが取り出されたら EXERCISE HANDLEテストを実 行します。
DEVICE FAILED ERROR CODE B9H	未定義エラー	電源再投入で、再発する時は弊社 担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE BAH		
DEVICE FAILED ERROR CODE BBH	RAMエラー	電源再投入で、再発する時は弊社 担当保守員に連絡してください。
DEVICE FAILED ERROR CODE BCH	ROMエラー	
DEVICE FAILED ERROR CODE BDH	CTCエラー	
DEVICE FAILED ERROR CODE BEH	未定義エラー	
DEVICE FAILED ERROR CODE BFH		

## 付録B サプライ品について

[ 富士通ピー・アンド・エス株式会社 取扱い品 ]

本装置のサプライ品には以下の物があります。データカートリッジ、クリーニングカートリッジは必ず当社指定のサプライ品を使用してください。

品名	商品番号	出荷単位	備考
データカートリッジ DLT IV	0160110	7巻	DLT Tape IV
クリーニングカートリッジ DLT	0160120	1巻	20回使用可
DLTカートリッジマガジン DLM6	0611540	1個	データカートリッジが6巻入るマガジン

---

DLTライブラリ装置  
( GP-DLL201 )  
取扱説明書

B1FY-4671-01-00

発行日 1998年8月  
発行責任 富士通株式会社

---

- [ 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- [ 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- [ 無断転載を禁じます。
- [ 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。